



26年6月29日(日)

### 五日に市民病院祭

#### DMAカー展示や落語も

地域に開かれた病院づくりを目指している赤穂市民病院の第13回病院祭は、「のぞいてみよう医療の世界」をテーマに、来月5日午前9時から12時半まで一階玄関付近と二階受付周辺で多彩に開催される。

アトラクションは、尾崎保育所園児の演奏がオープニングを飾り、江戸落語の入船亭小辰を招いた落語会や、赤穂市児童合唱団、赤穂ブラスウィングズの演奏をはじめ、関西福祉大学のよさこいサークル天舞の踊りなどが披露される。

また、体験コーナーでは今年初めて導入したDMA T(ティーマット)カー(災害時医療支援車)の展示や病院祭スタンプラリー、セラピューティックケアをはじめ「めざ

せー薬剤師」や「寺小屋」の紹介、介護教室、赤ちやん写真展など盛りだくさんの催しを企画した。

このほか、手術室や放射線室、医療機器を見学するコーナーやバザー、射的なども楽しみだ。

また協賛企画として、相生市看護専門学校、ハガキ作成とパネル展、健康チエック、地場産農産物の販売、関西福祉大学生による健康チエックなどもある。

入場無料。雨天決行。問合せは同病院総務課(43-6414)へ。

赤穂新聞

'14.6.29

複写はご遠慮ください。